

タイでの異文化体験旅行を 生徒主体でプロデュース

かえつ有明高等学校（東京・私立）

かえつ有明高等学校の「高校新クラス」*の修学旅行は、行先からプログラムまで生徒主体でプロデュースする。学校から提示する条件は、「学びがある」「安全である」「学校が定める予算と時期の範囲内」の3点。これらをクリアすれば行先は国内でも海外でもよく、活動内容も自由だ。

「自由で楽しそうに思われますが、白紙状態から、全員の合意形成を図りながら創り上げていくのに、毎年とても苦勞しています。そのプロセスにおいて、与えられたものにはない難しさと面白さに気づき、1人ひとりが何かを学び取る機会にしてほしいと考えています」(福富高彦先生)

今年度は生徒から海外の2案があがった。単なる多数決ではなく、どうすればみんなが納得した選定ができるかから議論。紆余曲折の末、「高校生のうちから国際体験を積み、これからのグローバル社会のために視野を広げる」をテーマにタイへ行くことを決めた。活動内容は一人ひとりが書いた企画書を集約して基本案とし、旅行会社と相談しながら進めている。

「タイで現地の人にふれるなか、日本との価値観の違いにおおいにショックを受けてほしい、と期待しています」(同)

*本質的な学びの実践を掲げて設置したコース



自分たちのプランを保護者にプレゼン。

「高校新クラス」修学旅行の概要 ※2018年度予定

行先	タイ(バンコクなど)		
主な内容	現地大学生とのディスカッション・交流、スラム街孤児院訪問		
時期・期間	10月/6日間	費用	約15万円

●学校プロフィール >> 学科:普通科/入学定員:80人(ほかに内部進学約160人)
/進路(2018年3月卒業生):大学127人・専門学校4人・その他16人